

公共サイン（看板類）の適正化に取り組みます

！ 西宮市における公共サインの問題点

公共サイン（看板類）の乱立が街の美観や安全、効果的な情報伝達を損ねています



糞の絵柄が不快



看板が死角をつくり危険



赤色が退色し読み取れない



情報よりサインが目立つ



情報量が多く絵柄が過剰



無秩序なサイン配置

そこで、仮設の看板類を設置しないこととし、街の美観や安全に配慮した効果的な公共サインの設置ルールを策定しました！



西宮市公共サインデザインマニュアル

1 公共サイン設置の3つの基本的な考え方

1. 公共サインの役割

情報をわかりやすく伝える

公共サインは、人の移動や施設利用の円滑化と安全確保を図るために設置するものであり、わかりやすいデザインと効果的な配置による情報伝達の確保を第一とします。



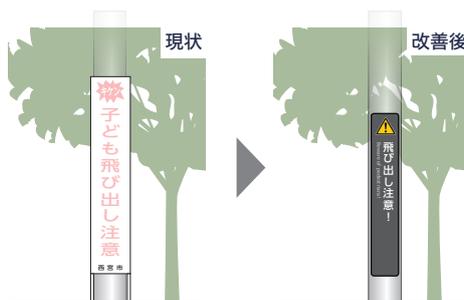
- 余白を適切に設ける
- 誰でもわかりやすい共通ピクトグラム
- 情報を端的に伝える

文字やカラー、ピクトグラム等の共通ルール

2. 景観調和の観点

景観に調和するデザインと配置

公共サインは、高い視認性を必要としますが、過剰に看板自体を主張させることなく、街並みとの調和に配慮したデザインやサイズ、配置とすることを基本とします。



白背景に赤文字
表示内容より看板自体が目立ち景観にもなじまない(赤文字は退色しやすい)

黒背景に白文字
看板自体より表示内容が目立ち景観にも調和する

3. 設置方針

サインの必要性や効果の検討

設置にあたっては、他の広報手段や道路標識の設置、周辺環境整備等を検討するなど、サインの必要性や効果を十分検討し、不要なサインは設置しないものとします。



設置すべきもの
施設利用の円滑化と安全確保を図るために必要なもの

設置できるもの
施設利用情報や緊急的な事象に対する一時的な注意喚起

設置できないもの
道徳啓発及び周知の事実(掲示板掲出やその他の広報手段を活用)

2 公共サイン設置の3つの原則

1. 常設サインを基本

美観と耐久性に配慮

良好な景観形成と維持管理の観点から、一定の品質を確保できる常設サインの計画的な設置を基本とします。

2. 仮設サインは原則設置しない

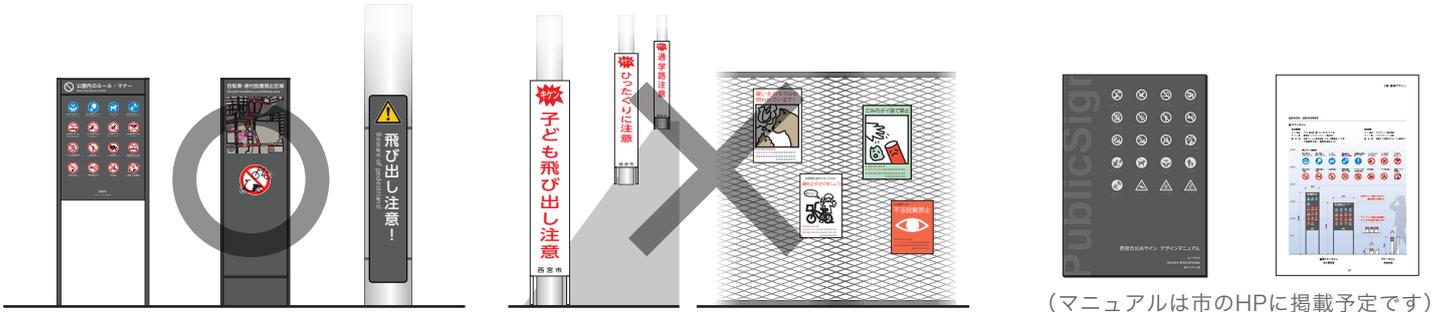
仮設看板乱立を防止

仮設サインは、局所的かつ緊急的に発生する事象に対処する場合にのみ期間限定で設置できるものとします。

3. 公共サインデザインマニュアルの遵守

実効的なルールの施行

景観へ配慮したデザインやサイズ、配置などのルールを定めたマニュアルに基づき設置を行うものとします。



(マニュアルは市のHPに掲載予定です)

3 今後設置する公共サインのイメージ

市が今後設置・配布するサインは、公共サインデザインマニュアルに定めたルールに基づき設置するものとします

BEFORE



犬の糞

ゴミステーション

飛び出し注意

AFTER



犬の糞

ゴミステーション

飛び出し注意

4 今後の流れ

公共サインデザインマニュアルの施行後（平成30年1月1日予定）
下記の流れで、本市の公共サイン適正化を進めていきます

